



シンガポール国際数学・情報チャレンジ2024

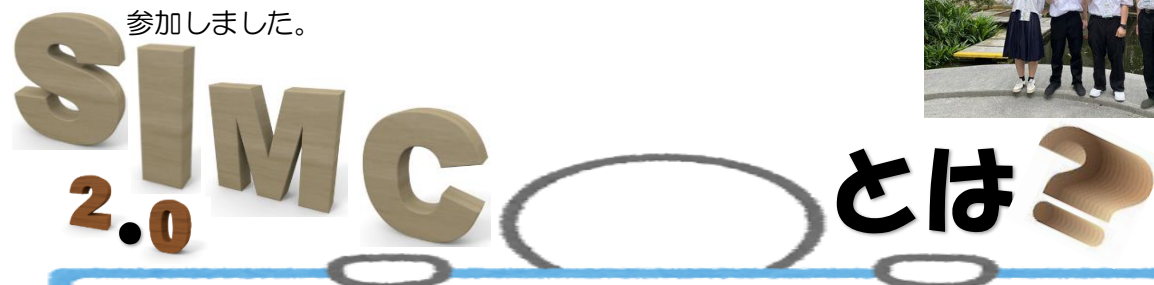


Singapore International Mathematical and Computational Challenge 2024

20 - 24 May 2024

5月20日(月)~24日(金)に、シンガポール国立大学附属数理高校(NUSハイスクール)において、シンガポール国際数学・情報チャレンジ(通称SIMC2.0: Singapore International Mathematical and Computational Challenge)が行われ、本校2年理数科の飯井さん、竹澤さん、森田さんの生徒3名が参加しました。惜しくも賞は逃しましたが、生徒たちは堂々と素晴らしいプレゼンを行いました。

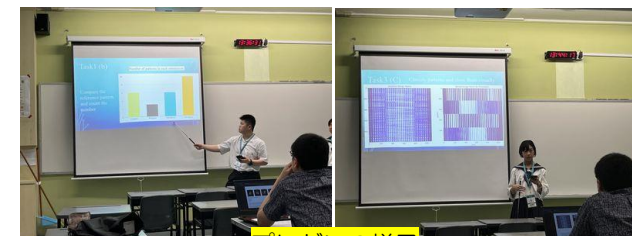
日本からは本校と立命館高校、横浜サイエンスフロンティア高校が参加しました。



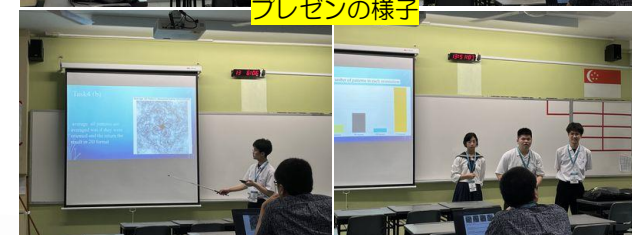
シンガポール国際数学・情報チャレンジ(通称SIMC2.0)は、シンガポール国際数学チャレンジ(SIMC)の後継大会であり、2年に1度の国際数学モデリングコンテストである。前に実施していたSIMCにコンピューショナル・モデリングを取り入れ、参加者が数学とコンピューティングを応用して現実世界の問題を解決するコンテストとして2022年にスタートした。第1回SIMC2.0は、2022年11月にオンラインで開催され、22の国と地域から52校が参加した。



OP セレモニー



プレゼンの様子



生徒の感想

○私は SIMC に参加できたことをとても誇らしくそして嬉しく思います。SIMC は私に勇気と新たな視点を与えてくれました。初めて海外の人と話してみても最初に思ったことは、「英語が凄く速い」でした。これは実際に海外へ行かないと分からなかったことです。何も聞き取れなかったということも多々ありました。その中で、文化も言語も違う人々と自ら関わりに行く勇気、また伝わらないかもしれないという不安の中「とにかく話せるだけ話してみよう」と挑戦する勇気を得ました。そして、「そういう考え方、感じ方があるんだ」という驚きの連続は、私に多くの新たな視点を与えてくれました。

○SIMC を通して一番感じたことは「英語」だった。SIMC には多くの国からの参加者がいたが、全員英語で話していて、耳が慣れるまで聞き取るのが大変で、知らない単語やスラングも多かった。本当に英語は勉強するべきだと思った。特に英語のスピーキング能力はこれからのグローバル化社会に必須能力だと思った。日本では文法が重要視されているけど実際スピーキングに関しては単語力と伝えようとする表現力、そして発音が大事なんだと感じた。また、海外では日本のように周りに合わせる事がほとんどなく自分の意思を伝えることがとても大事なことを痛感した。実践的な英語に触れることがどれだけ大切で必要なかがわかった。

○SIMC では一つの問題に二日間をかけて取り組むという初めての経験をしました。粘り強く取り組むことで諦めないことの大切さを改めて感じ、一緒に参加した仲間と同じ目標達成に向かう貴重な時間を過ごすことができました。また、他国の生徒との交流では実践的な英語でのコミュニケーションにふれ、リスニング能力の重要性を実感しました。さらに異国の文化や価値観を知ることによって日本を客観的に見る事もできたと感じます。この貴重な経験を通して、これから自分がどう変わっていくか楽しみです。